



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月7日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	151,077	1.4	19,222	5.1	17,994	6.1	12,368	10.4
2018年3月期第2四半期	148,993	3.2	18,286	1.4	16,961	3.7	11,207	62.3

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 15,871百万円 (22.7%) 2018年3月期第2四半期 12,931百万円 (46.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	44.91	
2018年3月期第2四半期	40.70	

当社は、2017年10月1日を効力発生日として普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	895,903	267,560	29.8
2018年3月期	876,679	253,365	28.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 266,542百万円 2018年3月期 252,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		3.50		8.00	
2019年3月期		8.00			
2019年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2018年11月7日)公表の「剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 1円00銭 (創立120周年)

2018年3月期の1株当たり期末配当金については、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。なお、当該株式併合後に換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は、15円となります。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	7.7	37,000	25.5	33,500	22.8	22,500	39.3	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	275,760,547 株	2018年3月期	275,760,547 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	371,651 株	2018年3月期	370,840 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	275,389,302 株	2018年3月期2Q	275,396,623 株

(注)前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載するとともに、TDnetで同日開示しております。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」から日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(参考)

2019年3月期の個別業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,200	14.5	26,100	48.9	23,300	52.4	16,500	73.7	59.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)の当社グループは、2020年度を最終年度とする「京急グループ中期経営計画」に基づき、各事業を推進するとともに、事業の選択と集中を進めるなど経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、営業収益は、1,510億7千7百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は192億2千2百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は179億9千4百万円(前年同期比6.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は123億6千8百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより、輸送人員は前年同期比で1.2%増加(定期1.3%増、定期外1.0%増)となり、増収となりました。また、羽田空港国内線ターミナル駅および羽田空港国際線ターミナル駅の輸送人員は、前年同期比で4.6%増加(国内線3.1%増、国際線10.1%増)となりました。

バス事業では、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は、羽田空港アクセス路線等が順調に推移したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は629億4千2百万円(前年同期比0.8%増)となったものの、動力費および燃料費の増加などにより、営業利益は122億2千3百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

不動産事業

不動産販売業では、分譲マンションの売上が増加したことなどにより増収となりました。

不動産賃貸業では、前期に取得したオフィスビルが通期稼働したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は178億3千1百万円(前年同期比13.3%増)、前年同期にたな卸資産評価損を計上した反動などにより、営業利益は21億3千9百万円(前年同期比256.7%増)となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、京急EXインは、ビジネス、レジャー需要を積極的に取り込み、前期に開業した新館をはじめ、各館が好調に稼働し、増収となりました。

以上の結果、営業収益は185億3千3百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は35億1千9百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、前期にリニューアルした売場が順調に推移したことなどにより増収となりました。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、(株)セブン-イレブン・ジャパンと業務提携した店舗などが順調に推移し、増収となりました。

以上の結果、営業収益は529億5千1百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は11億9千2百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

その他

京急建設(株)は、前年同期に受注した工事の反動などにより、減収となりました。

以上の結果、営業収益は、191億9千5百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益は5億8千8百万円(前年同期比30.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少はありましたが、現金及び預金、投資有価証券ならびに分譲土地建物の増加などにより、前連結会計年度末と比べ192億2千4百万円増加しました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少はありましたが、有利子負債および長期前受工事負担金の増加などにより、前連結会計年度末と比べ50億2千8百万円増加しました。

また、純資産は、剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末と比べ141億9千5百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想について、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、前回予想（2018年5月9日公表）を修正しております。

営業収益は、不動産事業およびレジャー・サービス事業などで前回予想を上回る見通しとなったことから、3,400億円（前回予想比0.9%増）を見込んでおります。

利益面では、不動産事業の増益などにより、営業利益は370億円（前回予想比2.8%増）、経常利益は335億円（前回予想比3.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は225億円（前回予想比2.3%増）と、それぞれ上方修正しております。

セグメント別の詳細につきましては、別途開示しております「2019年3月期第2四半期決算補足説明資料」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,862	57,618
受取手形及び売掛金	15,303	10,007
商品及び製品	2,865	2,903
分譲土地建物	59,304	64,671
仕掛品	417	867
原材料及び貯蔵品	250	267
その他	6,206	5,788
貸倒引当金	△19	△14
流動資産合計	128,189	142,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	319,078	315,398
機械装置及び運搬具(純額)	39,897	40,755
土地	171,236	172,457
建設仮勘定	78,070	79,165
その他(純額)	6,685	6,140
有形固定資産合計	614,968	613,918
無形固定資産		
のれん	2,487	2,370
その他	5,233	4,940
無形固定資産合計	7,720	7,310
投資その他の資産		
投資有価証券	71,370	76,982
長期貸付金	1,257	1,177
繰延税金資産	5,563	5,843
退職給付に係る資産	25,109	25,995
その他	22,632	22,719
貸倒引当金	△133	△154
投資その他の資産合計	125,799	132,564
固定資産合計	748,489	753,793
資産合計	876,679	895,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,708	19,403
短期借入金	129,929	128,639
コマーシャル・ペーパー	—	15,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,690	5,854
前受金	4,926	6,126
賞与引当金	1,330	1,537
役員賞与引当金	109	1
その他の引当金	76	15
その他	31,131	33,242
流動負債合計	218,902	209,820
固定負債		
社債	95,000	105,000
長期借入金	203,647	202,109
繰延税金負債	12,150	14,329
役員退職慰労引当金	390	399
退職給付に係る負債	10,289	10,274
長期前受工事負担金	55,646	59,402
その他	27,287	27,005
固定負債合計	404,411	418,522
負債合計	623,314	628,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,158	44,158
利益剰余金	144,592	154,757
自己株式	△652	△654
株主資本合計	231,837	242,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,126	18,419
退職給付に係る調整累計額	6,922	6,121
その他の包括利益累計額合計	21,048	24,541
非支配株主持分	478	1,018
純資産合計	253,365	267,560
負債純資産合計	876,679	895,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業収益	148,993	151,077
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	113,464	113,599
販売費及び一般管理費	17,243	18,255
営業費合計	130,707	131,854
営業利益	18,286	19,222
営業外収益		
受取利息	38	32
受取配当金	484	450
持分法による投資利益	345	359
その他	575	357
営業外収益合計	1,443	1,200
営業外費用		
支払利息	2,255	2,237
その他	512	190
営業外費用合計	2,767	2,427
経常利益	16,961	17,994
特別利益		
工事負担金等受入額	156	470
投資有価証券売却益	—	400
その他	—	179
特別利益合計	156	1,050
特別損失		
固定資産圧縮損	156	470
投資有価証券評価損	—	313
その他	—	58
特別損失合計	156	842
税金等調整前四半期純利益	16,961	18,203
法人税、住民税及び事業税	5,241	5,459
法人税等調整額	499	364
法人税等合計	5,741	5,824
四半期純利益	11,220	12,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,207	12,368

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
四半期純利益	11,220	12,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,134	4,292
退職給付に係る調整額	△423	△800
その他の包括利益合計	1,711	3,492
四半期包括利益	12,931	15,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,919	15,860
非支配株主に係る四半期包括利益	12	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	61,218	12,222	15,613	51,738	8,199	148,993	—	148,993
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	1,196	3,514	2,013	755	12,198	19,677	△19,677	—
計	62,415	15,737	17,626	52,493	20,397	168,670	△19,677	148,993
セグメント利益	12,591	599	3,301	1,126	844	18,463	△177	18,286

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	61,944	14,302	16,250	51,881	6,698	151,077	—	151,077
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	998	3,528	2,283	1,069	12,496	20,377	△20,377	—
計	62,942	17,831	18,533	52,951	19,195	171,454	△20,377	151,077
セグメント利益	12,223	2,139	3,519	1,192	588	19,663	△440	19,222

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。